

南山大学点検・評価報告書の公開にあたって

南山大学は、1946年に設置された南山外国語専門学校を前身として、「キリスト教世界観に基づく学校教育を行う」という建学の理念を掲げ、1949年に開学しました。以来創立75周年を迎える本年に至るまで、学部増設や再編等の改革を重ね、8学部18学科を擁する総合大学へと発展しました。

この間教育・研究を継続的に改善・改革する取組として、1991年より自己点検・評価を実施してまいりました。学内の自己点検・評価委員会、学外委員による「外部評価委員会」による評価、「学生による授業評価」の全学での実施、学生のインターネット投書箱「アゴラ」の設置、毎年度発行する自己点検・評価報告書に対する「評価報告書」の作成など、自己点検・評価の自己満足化や形骸化を防ぐための努力も重ねてまいりました。

そして、こうした自己点検・評価を生かしながら大学の質の維持・向上を実現するための仕組みを整備するために、2020年度に内部質保証体制の見直しを行いました。

本学は、2013年度に引き続き、2020年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価を受け、適合認定を得ました。一方、指摘を受けた事項につきましては、助言を真摯に受け止め、さらなる改善に取り組んで行く所存です。

本報告書の公開と同様に、今後も本学の取り組みにつきましても、積極的に社会に公開し、説明責任を果たしてまいります。多くの皆さまからご意見を賜ることができますれば幸いです。

最後に、本学の大学評価にご尽力いただいた大学基準協会をはじめとする関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

2021年4月

南山大学

学長 ロバート・キサラ